

# 学術委員会報告

—学会賞・技師賞・班研究課題の応募結果について—

公益社団法人日本臨床細胞学会  
学術委員会委員長 前田 一郎

学会賞・技師賞・班研究課題に応募いただき有り難うございました。  
審査の結果、以下の方々が受賞されました。

## ◆学会賞

廣岡保明 【鳥取県立中央病院外科 院長】

推薦理由： 消化器細胞診への学術的功績、日本臨床細胞学会の運営、発展に関する功績は高く、学会賞の授与にふさわしいと考える。

## ◆技師賞学術部門

大河戸光章 【杏林大学保健学部臨床検査技術学科】

推薦理由： これまでに HPV に関連した優れた研究成果と細胞診断学教育に貢献してきた日本臨床細胞学会技師賞学術部門候補者として相応しく技術賞学術部門にふさわしい方である。

## ◆技師賞功労部門

前田ゆかり 【社会医療法人博愛会相良病院臨床検査部臨床検査部 部長】

推薦理由： 学会総会で多くの発表歴があり、特に乳腺細胞診の発展に大きく寄与した。さらに鹿児島県子宮頸がん啓発活動など、細胞検査士として社会活動へ積極的に参加し、医療者とし臨床・教育・研究における多大なる貢献がみられる、技師賞功労部門にふさわしい方である。

## ◆班研究課題

内藤嘉紀 【久留米大学病院 臨床検査部 准教授】

推薦理由： 胆汁細胞診検体に液状化細胞診（LBC）を使用し、良悪性の判定が困難な症例に対して免疫染色評価により、有用な抗体を抽出する研究である。合理性、実臨床に沿った臨床研究である。

学会賞・技師賞・班研究課題に関しましては、2023年6月に開催される第64回日本臨床細胞学会総会にて授賞式が行われます。

何卒宜しく願い申し上げます。